

やさしく読める英語ニュース（聞き取り問題）

えいごネットの「やさしく読める英語ニュース」の音声ファイルを聞いて、下の空欄の単語を聞き取る練習をしてみましょう。

Hydrogen trains begin service in Germany

The world's first hydrogen-powered passenger trains began (1) in Germany (2) Aug. 24. The trains' engines run on (3), which comes from hydrogen fuel cells.

German (4) say the trains in Lower Saxony are the first operating hydrogen-powered passenger trains in the (5).

The country supports the (6) of hydrogen as an alternative to fossil fuels.

The trains are made by Alstom, a French company.

<ヒント>

- (1) 外来語として定着している単語。
- (2) この「リスニング問題」では何度も問われている問題。間違えないでね^^。
- (3) スペルに注意。
- (4) この単語は人を表すこともある。
- (5) 簡単な単語だが、しっかり発音できるよう練習しよう。
- (6) the () of の並びの場合、カッコ内には必ず名詞が入る。

やさしく読める英語ニュース（聞き取り問題）解答編

<解答>

- (1) operation **名** ここでは電車の「運行」を意味する。他に「手術」の意味でも抑えておこう。
- (2) on **前** 月だけの場合は in、日付を伴うと on。過去に何度も出ているので混同しないようにしよう。Ex. in May, on June 28
- (3) electricity **名** 電気。ここでは名詞だが、混同しやすい類語として、形容詞の electric と electronic がある。electric は「電気の」、electronic は「電子の」で区別しよう。Eメールの E は「電子メール」なので、electronic mail の略である。
- (4) officials **名** official は名詞と形容詞の働きがあり、名詞の場合は「役人、当局者」のように人を表す。形容詞では「公式の、正式な」。
- (5) world **名** 世界。
- (6) use **名** 名詞で「使用」。動詞と違い、発音は「ユース」と濁らない点に注意。

<ニュース解説（英文の和訳ではありません）>

ドイツで世界初の水素を燃料とする列車の本格運行が始まった。この列車を製造したのは、フランスの鉄道車両製造大手のアルストム社。現在はまだ初期段階の運行であるため、メンテナンス等の必要性に備えて、最初の数カ月間はディーゼル車を予備として用意している。

アルストム社によると、最大乗客定員数は 300 人で、最高速度は時速 140km。航続距離は 1000km で、水素燃料を満タンにすれば 1 日中走行が可能だ。水素は列車の屋根に取り付けられた燃料電池で発電され、車載バッテリーに蓄電される。副産物として水や熱を発生させるが、大気汚染物質を排出せず、騒音も最小限だという。

ドイツをはじめとする欧州諸国は現在、ロシアのウクライナ侵攻をきっかけに、ロシア産の石油や天然ガスへの依存から脱却しようと図っている。そんななかで、水素列車がディーゼルエンジンに代わる新たな選択肢となり得るのか、世界中がこの列車に注目している。